

黒毛和種 ET 産子哺育技術の向上

【背景と目的】

飼料価格高騰、乳用種雄子牛の市場価格暴落等で酪農家の経営状況は悪化している。受精卵移植（ET）によって乳牛から黒毛和種を産出し、子牛を市場出荷することで収入の確保に取り組む農家が増えているが、黒毛和種は産子が小さく病気にかかりやすく、ホルスタインやF1と同様の哺乳方法ではうまく育たない。そこで、都内酪農家の飼養形態、環境に合った哺育プログラムを開発し、優良な黒毛和種子牛を市場出荷して酪農家の収益向上を目指す。

【研究概要】

（1）状況調査

都内酪農家における黒毛和種子牛哺乳・哺育方法および成長状況を調査し、実施成長阻害因子を分析

（2）飼養試験

センター飼養牛（6頭/年）で哺乳・哺育試験

哺乳方法・離乳時期による成長速度、血液生化学値の比較

（3）哺育マニュアルの作成

東京版哺育マニュアルを作成し、普及センター・農家へ提示